

| | |
|---------|---|
| 氏名 | 伊藤 裕 |
| 学位の種類 | 医学博士 |
| 学位授与番号 | 乙 第516号 |
| 学位授与の日付 | 昭和47年9月30日 |
| 学位授与の要件 | 博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当) |
| 学位論文題目 | 尿中17-deoxycorticosteroid 7分画 (DOC, Comp. B, Comp. A, allo THB, THB, THA及びAldosterone) の新分画測定法並びにその排泄値に関する研究 |
| 論文審査委員 | 教授 水原舜爾 教授 山崎英正 教授 大藤 真 |

学位論文内容の要旨

尿中Aldosterone, Comp. B, についての報告は散見するが17-deoxycorticosteroidの上記7分画の同時測定をおこなった報告は未だない。著者は尿中のこれら7分画の同時測定法を考案することによりこれまで未開拓であった鉍質corticoidの尿中排泄動態を知るべく本研究をおこなった。尿水解抽出, 発色定量, alumina column chrmatによる17-deoxycorticosteroidと17-hydroxy-corticoidの分離, 17-deoxycorticoidを上記7分画に分画するためのTLC等の検討をおこなって新測定法を開発し, 本法における回収率の検討, および得た尿試料をTLC, GLC, 紫外部吸収, 各種発色法における連続吸収曲線等を純品と比較した同定実験, ならびに併行試験をおこなって新分画測定法を確立した。本法によって正常婦人及び諸種内分泌異常例について静的, 動的に測定した結果, 17-deoxycorticoidは17-hydroxycorticoidの干渉は受けず卵巣機能の影響も軽度であり, 鉍質corticoid系のsteroid代謝は比較的安定しており, precursorからのDOCへの転換にもとずいて7分画の排泄量がほぼ決定されることがあきらかとなった。

論文審査の結果の要旨

本研究は, 従来分離定量の困難であった7ケの尿中17-デオキシコルチコステロイドをカラム・クロマトグラフィー及び薄層クロマトグラフィーを用いて同時に分離定量する方法を開発し, 更にこれを正常婦人及び各種内分泌異常例に適用し, 17-デオキシコルチコステロイドの代謝は17-ハイドロオキシコルチコステロイドや卵巣機能の影響が少なく比較的安定していることを明らかにしたもので, ステロイドホルモンの研究上有意義な業績と認める。

よって, 本研究者は, 医学博士の学位を得る資格があると認める。